

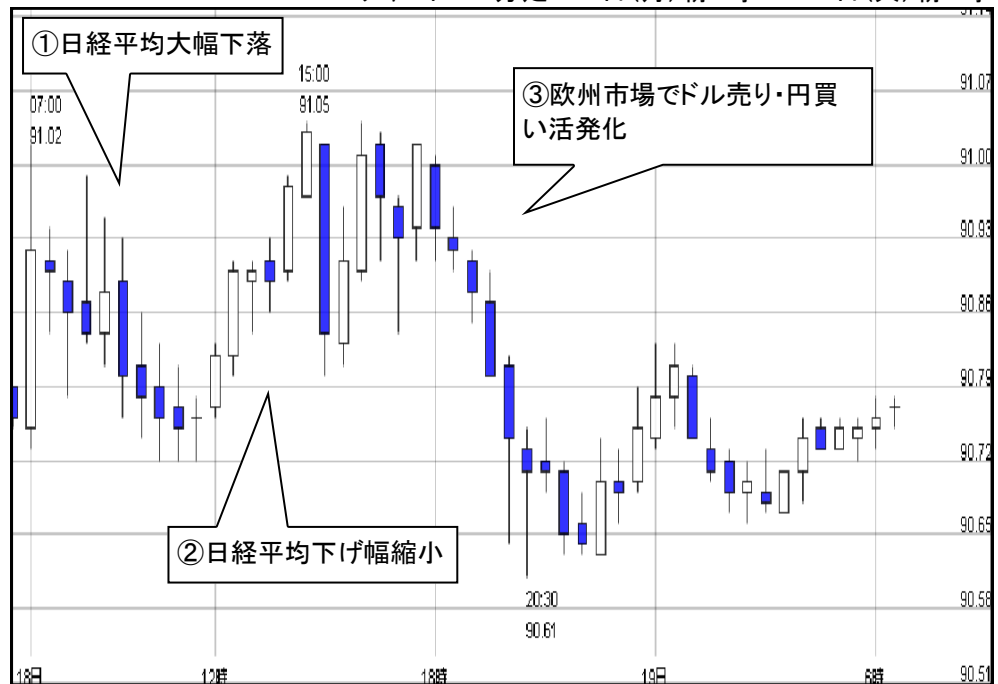
1月19日(火曜日)
ドル/円

上値重く、下値試しの機運強まる

18日(月)の主な推移

チャート: 30分足 18日(月)朝7時 ~ 19日(火)朝7時

NYダウ平均
休場
米長期金利 (10年債利回り)
休場
NY原油先物
休場



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、()は前日比
出所:外為どっとコム

①	15日の米ダウ平均株価が下落したことや小沢民主党幹事長の不正資金疑惑に絡んだ政局の混迷を背景に、日経平均が前場に前週末比200円超下落し、外国為替市場ではリスクを取ることに消極的となり、円買いが活発化。ドル/円は正午前に90.72円まで下落した。
②	日経平均が引けにかけて下げ幅を縮小するのに伴い、ドル/円は午後3時過ぎに91.05円まで反発したが、91円付近ではドル売り圧力の強さが示された。
③	91円付近からドル売り圧力の強さが示されたことを背景に、欧州市場序盤ではドル売り・円買いが優勢となり、ドル/円は夜に90.61円まで下落したが、90.60円付近ではやや底堅く推移。米国市場がキング牧師誕生日で休場のため、日本時間19日早朝にかけては小動きとなった。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

上昇要因(ドル高・円安)

- ・米国の経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・日本の政局の混迷
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加資金供給
- ・日本政府による市場介入への警戒感
- ・日本の財政赤字への懸念

下落要因(ドル安・円高)

- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米国経済の回復の鈍化
- ・外貨準備通貨としてのドル需要の減退
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり
- ・金融市場全体のドル売りムードの高まり

本日の見通し

本日の予想レンジ: 90.05-91.30円

本日のドル/円は下値を模索する展開となりそうだ。18日の取引で91円付近のドル売り圧力の強さがはっきりと示されたことで下値を試す機運が強まりつつあり、今朝の取引では15日に記録したほぼ1カ月ぶり安値90.59円を下回っている。下値の目途としては90.50円、本日時点の60日移動平均90.11円、そして心理的節目の90.00円ということになる。

ただ、90.00円付近ではドル買い意欲が強いと見られることから、この水準を割り込むためには何らかの材料が必要とみられ、東京市場で90円を割り込む可能性は少なそうだ。一方、米利上げ観測がじりじりと後退する中、ドル/円は91円付近では引き続き上値の重い状況が予想されるが、本日発表される米主要企業の決算が好調な場合は、リスクを積極的に取る動きが強まる可能性が高く、ドル/円が91円台を回復してNY市場が引ける可能性もないとはいえない。

本日より明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
1/19(火)	22:00	○	(米)シティバンク決算発表	—	—
	23:00	○	(米)11月対米証券投資[ネット長期フロー]	+207億USD	+275億USD
	27:00		(米)1月NAHB住宅市場指数	16	17
1/20(水)	6:15	○	(米)IBM決算発表	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com